

消防年報

2020

上尾市消防本部

A blue silhouette of two firefighters in full gear, one holding a long water hose that extends upwards and to the left. The background is white.

A GEO
FIRE
DEPARTMENT

令和2年度刊行

は し が き

市民の皆様には、消防業務に対し深いご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

近年の社会経済の著しい進展に伴い各種災害は複雑多様化され、人命危険と社会不安が増大し、防災上新たな課題となっております。

このような情勢下において、我々消防機関は、市民の皆様が安全で安心な暮らしができるよう、より一層消防力の充実と技術の向上を図り、各種災害に対処していく所存です。

この年報は、平成31年度における上尾市消防現勢と諸般の資料を収録したもので、今後の消防行政の参考に資するとともに、消防業務の実情を広く紹介することを目的に編集いたしました。

内容につきましては、施設及び人員に関しては令和2年4月1日現在で、その他は原則として会計年度で収録してありますが、火災、救急等については暦年で作成してあります。

この年報により、消防業務についてなお一層の認識を深められ、防火、防災体制の確立を図り、住み良い上尾市を築くため、特段のご協力をお願いいたします。

令和2年9月

上 尾 市 消 防 本 部

市 章



図案の意味

上尾の「ア」の頭文字を鋭く描いて、進展の象徴とし
円形は円満・団結を表現したものです。

昭和41年7月1日制定

上尾市イメージマーク アッピー



あげおの「ア」、上尾の向上を意味する「アップ」、さらに幸せの
「ハッピー」を合わせた「アッピー」です。

上尾市民憲章

(昭和63年7月15日制定)

私たち上尾市民は、武蔵野の美しい自然と豊かな歴史
と伝統にはぐくまれた郷土に誇りと責任を持ち、人間性
あふれた明るく住みよいまちを築くため、ここに憲章を
定めます。

私たちは

- 1 ふれあいを大切にし、あたたかい上尾をつくります。
- 1 体をきたえ、元気ある上尾をつくります。
- 1 きまりを守り、美しい上尾をつくります。
- 1 仕事にはげみ、豊かな上尾をつくります。
- 1 教育・文化を高め、国際感覚を養い、未来をひらく上尾をつくります。

上尾市スポーツ都市宣言

(昭和51年5月2日宣言)

緑豊かな美しい自然、明るく健康的で人間性豊かなまちは私たちみんなの願いです。

私たち上尾市民はひとりひとりがスポーツに親しみ、スポーツを通じて心と体をたくましく鍛え、市民相互の交流と連帯感を育くみ、創造的で人間性あふれる上尾市を築くため、ここにスポーツ都市の宣言をします。

- 1 すべての市民がスポーツに親しみ、たくましい心と体をつくりましょう。
- 1 すべての市民がスポーツの仲間をつくり、友情と連帯の輪を広げましょう。
- 1 すべての市民がスポーツを生活にとり入れ、創造性と人間性あふれるまちづくりをすすめましょう。

上尾市人権尊重都市宣言

(平成7年10月3日宣言)

日本国憲法は、すべての国民に基本的人権を保障しています。

しかし、私たちを取り巻く現実の社会には、同和問題をはじめ障害のある人や女性に対する差別など、基本的人権にかかわる問題が依然として存在しています。

私たち上尾市民は、あらゆる差別をなくし、一人ひとりが人権を尊重し合い自由と平等にあふれた平和で明るい社会を築くため、ここに上尾市を「人権尊重都市」として宣言します。

- 1 お互いに相手の立場にたって考え、思いやりの心を育てましょう。
- 1 人種や民族、家柄、地位、学歴、職業などにこだわらない人間交流を深めましょう。
- 1 家庭や地域、学校、職業などあらゆる生活の場で、人権を尊重する豊かな心をもった社会づくりに努めましょう。

上尾市非核平和都市宣言

(昭和60年8月15日宣言)

世界の恒久平和と安全は、人類共通の願いである。

しかし、今なお、多くの核兵器が造られ、世界の各地で武力紛争や戦争が絶えない。

わが国は、世界の唯一の被爆国として、全世界の人々に被爆の恐ろしさ、被爆の苦しみを訴え、再びこの地球上に被爆の惨禍を繰り返させてはならない。

われわれは、生命の尊厳を深く認識し、わが国の非核三原則が完全に実施されることを願い、すべての核保有国に対し、核兵器の廃絶と軍備縮小を求めるものである。

よって、被爆40周年に際し、上尾市は戦争のない、住みよいあすの世界を願い、ここに「非核平和都市」の宣言をする。

上尾市子ども憲章

(平成15年10月1日制定)

わたしたちは自然・伝統・文化を大切にし、豊かな未来をつくりあげるために、ここに「上尾市子ども憲章」を定めます。

ゆめ

夢や希望に向かって、何事にも積極的にチャレンジします。

いのち

力強く大地に根を張って、一つ一つの命を大切にします。

思いやり

やさしさと思いやりの心を持って、ふれあいの輪を広げます。

平成31年度 主な活動

5月 9日	普通救命講習 I
5月23日	埼玉県消防救助技術指導会第1ブロック予選会（さいたま市）
5月30日	実技救命講習
6月 8日	埼玉県消防救助技術指導会（陸上の部）（さいたま市）
6月21日	埼玉県消防救助技術指導会（水上の部）（さいたま市）
6月22日	普通救命講習 I
6月24日	消防協力者表彰式
6月25～28日	荒川水難救助訓練
7月11日	普通救命講習 I
7月14日	上尾夏まつり消防警戒
7月18日	関東地区救助指導会（水上の部）（高崎）
7月23日	実技救命講習 I
7月31～8月2日	応急手当普及員講習
8月 1日	原市花火大会消防警戒
8月 2日	インターンシップ
8月 3日	あげお花火大会消防警戒
8月 5日	応急手当普及員講習
8月 7日	夏休み1日消防士
8月 9日	応急手当普及員講習
8月11日	火災予防イベント（アリオ上尾）
8月18日	消火用水確保連携訓練（協力：串橋建材株式会社）
8月25日	全国救助技術指導会（水上・陸上）（岡山）
9月 7日	普通救命講習 I
9月17日	消防長特別研修（東京電力福島視察研修）
9月21日	上級救命講習
10月 6日	第19回上尾市消防団消防操法大会
10月12日	上級救命講習
10月20日	上尾・伊奈合同消防特別点検
10月31日	普通救命講習 I
11月 9～15日	秋季火災予防運動・広報活動
11月11日	消防長特別研修（埼玉県防災航空隊の活動について） 講師：埼玉県防災航空センター 角田 泰伸 氏 山口 陽平 氏
11月16日	普通救命講習 I
11月17日	上尾シティマラソン消防警戒
11月20日	消防協力者表彰式

- 1 1月20日 自衛消防実務研修会
 1 2月 4日 消防長特別研修 (人材育成・組織作り)
 講師：浦和学院高等学校硬式野球部監督
 森 士 氏
- 1 2月14日 普通救命講習 I
 1 2月25～31日 歳末火災特別警戒
 1 2月27日 歳末火災特別警戒・市長巡視
 1 月11日 上級救命講習
 1 月19日 消防出初式
 1 月30日 埼玉県消防長会消防職員意見発表会 (消防学校)
 1 月30日 普通救命講習 I
 2 月 5日 応急手当普及員講習
 2 月15日 上級救命講習
 3 月1～7日 春季火災予防運動・広報活動
 3 月2～3日 自警団県外研修会



消火用水確保連携訓練の様子



消防長特別研修の様子



目 次

上尾消防のあゆみ	1	危険物施設数	47
		危険物施設数の推移	48
		危険物施設に係る申請等の件数	49
現 勢		火 災	
概 要		火災の発生状況	50
上尾市の概要と位置	19	主な火災原因	51
消防予算	20	分類別火災発生状況	51
消防関係要覧	21		
消防機構図	22	救 急	
事務分掌	23	年別救急出動・搬送件数	54
		分類別出動件数	55
消防力 施設・職員・通信・消防水利		分類別搬送人員	56
庁舎施設概要	26	救急隊員による応急処置実施件数	58
現有車両配備状況	28	ドクターカー	59
消防用資機材保有状況	29	ドクターヘリ・救命講習会実施状況	60
緊急消防援助隊	31		
大規模災害対策資機材整備事業	32	救 助	
消防力の整備指針	33	救助活動状況	61
消防職員階級別状況	33	地区別救助出動件数	61
年齢及び階級吏員数	34		
教育・訓練実施状況	35	通信指令	
資格取得状況	36	119番受信状況	62
上尾市・伊奈町消防指令センター	37	緊急通報・医療機関案内	63
消防水利	39	気象状況	64
消防音楽隊	41		
防災体験コーナー	43	消 防 団	
		消防団	
統 計		消防団概要	65
予 防		消防団施設	66
防火対象物数及び立入検査件数	44	消防団員定数及び実員	67
防火防災訓練指導件数	45	階級別消防団員数	67
消防同意件数の推移	45	車両配置表	68
消防法令に基づく各種届出件数	46	職業構成及び就業形態	68
市火災予防条例関係届出件数	46		
		過去の防火標語	69



上尾消防のあゆみ

昭和30年	1月 1日	上尾町、平方町、原市町、大石村、上平村、大谷村の3町3村を合併し、上尾町連合消防団として発足、連合消防団長に八木信一氏が就任、48分団に区分し、常備消防団員2名、消防団員873名、水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車5台、三輪車2台、可搬式動力ポンプ38台、腕用ポンプ2台をもって業務を開始する。
昭和33年	1月31日	第一分団消防ポンプ自動車を更新する。
	31日	連合消防団長に下里金太郎氏が就任する。
	4月 1日	消防機構改革を行い、名称を上尾町消防団に改め8分団に縮小、常備消防団員4名、消防団員163名、消防ポンプ自動車7台、可搬式動力ポンプ1台とし、初代消防団長に下里金太郎氏が就任する。
	7月15日	市制施行に伴い、名称を上尾市消防団に改める。
	12月22日	第七分団消防ポンプ自動車更新する。
昭和36年	10月27日	第四分団消防ポンプ自動車更新する。
	11月25日	消防団長に中村利男氏（第2代）が就任する。
昭和37年	11月20日	上尾市消防団本部指令車（ニッサン・ブルーバード）を配備する。
昭和38年	2月25日	第八分団消防ポンプ自動車（ニッサン）更新する。
昭和40年	4月 1日	上尾市大字上尾宿263番地に消防本部並びに消防署を開設し、水槽付消防ポンプ自動車（イスズ）1台を配備し、職員18名をもって発足する。
	1日	初代消防長に桜井安太郎が就任する。
	6月 1日	消防職員4名を採用、22名となる。
	7月15日	上尾市上町二丁目14番19号に新庁舎完成（鉄筋コンクリート造2階一部3階建 敷地面積1204.50㎡ 建築面積373.786㎡ 延面積704.679㎡）により移転、業務を開始する。
	9月 1日	消防職員2名を採用、24名となる。
	11月 1日	消防職員2名を採用、26名となる。
	12月 1日	消防職員1名を採用、27名となる。
	2日	消防署に化学消防ポンプ自動車（イスズ）を配備する。
	2日	第二分団消防ポンプ自動車（ニッサン・パトロール）更新する。
	15日	消防団長に平野博通氏（第3代）が就任する。
昭和41年	4月 1日	消防職員8名を採用、35名となる。
	10月 1日	消防署に東消型救急車（トヨタ）を配備し、救急業務を開始する。
	11月 1日	消防用無線電話超短波無線局を開局する。基地局、車載無線機2基、携帯無線機1基をもって運用開始する。
	12月15日	消防職員1名を採用、36名となる。
昭和42年	3月 1日	4連救助梯子、空気呼吸器、エンジンカッター等の救助器具を装備する。

- 昭和42年 4月 1日 消防職員3名を採用、39名となる。
- 18日 日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（ニッサン・ジュニア）の寄贈を受ける。（火災保険号）
- 9月 1日 消防本部に指令車を配備する。
- 10月 11日 全国消防長会関東支部主催第11回火災予防並びに火災原因調査研究発表会に埼玉県消防長会代表として消防司令補岡田伸治を派遣する。
- 16日 消防職員1名を採用、40名となる。
- 22日から27日まで第22回秋季国民体育大会主競技場の消防警戒を実施する。
- 11月 4日から5日まで第3回全国身体障害者スポーツ大会の消防警戒を実施する。
- 昭和43年 6月 1日 消防職員1名を採用、40名となる。
- 8月 30日 全国消防長会関東支部主催第12回火災予防並びに火災原因調査研究発表会に埼玉県消防長会代表として消防士長日吉孝を派遣する。
- 9月 1日 消防職員1名を採用、40名となる。
- 11月 13日 第五分団消防ポンプ自動車（ニッサン）更新する。
- 12月 21日 原市AB、尾山台AB、シラコバト、富士見、西上尾各団地電話119番を集中方式とする。
- 昭和44年 1月 1日 消防職員1名を採用、41名となる。
- 5月 16日 消防署に防災車521型貨物自動車（ダットサン）を配備する。
- 7月 10日 全国消防長会関東支部主催第13回火災予防並びに火災原因調査研究発表会に埼玉県消防長会代表として消防士長小川和雄を派遣する。
- 15日 埼玉県石油商業組合上尾支部（上尾班）より予防車（トヨペット・コロナ）の寄贈を受け、消防本部予防係に配備する。
- 8月 1日 消防職員1名を採用、39名となる。
- 12月 17日 消防署に水槽付消防ポンプ自動車（ニッサン）を配備する。
- 昭和45年 2月 2日 消防長桜井安太郎氏市防災課長に転出し、後任消防長に天野正三（第2代）が就任する。
- 4月 1日 消防職員2名を採用、41名となる。
- 8月 1日 消防職員1名を採用、42名となる。
- 20日 第6回埼玉県消防操法大会が上尾運動公園で開催され、消防団第五分団が出場し、消防ポンプ自動車の部で第3位となる。
- 10月 1日 望楼監視用テレビカメラ（コンソールデスク付き）を望楼上に取り付ける。
- 11月 24日 消防職員1名を採用、43名となる。
- 12月 17日 消防署に18m級はしご付消防自動車（ニッサンディーゼル）を配備する。
- 昭和46年 2月 1日 消防職員2名を採用、45名となる。
- 18日 第七分団消防ポンプ自動車（ニッサン）更新する。
- 5月 1日 消防職員1名を採用、46名となる。
- 8月 10日 第一分団消防ポンプ自動車（イスズ）更新する。

昭和46年	9月 1日	消防職員1名を採用、47名となる。	
	21日	第三分団車庫・詰所を上尾市大字谷津字本村123番地58に新築移転する。	
	10月15日	消防職員1名を採用、48名となる。	
昭和47年	12月 1日	消防職員1名を採用、49名となる。	
	3月31日	通信指令室に消防通信指令装置を設置する。	
	4月 1日	消防職員6名を採用、55名となる。	
	7月28日	埼玉県・上尾市共催による総合防災訓練を上尾市浅間台第七公園で実施する。	
	8月 1日	消防職員1名を採用、54名となる。	
	18日	第7回埼玉県消防操法大会が上尾運動公園において開催される。	
	10月10日	救急車車庫、鉄骨造平屋建 27.945 m ² 、及び待機室鉄筋コンクリート造平屋建 76.656 m ² を増築する。	
昭和48年	27日	消防署に救急車3B型（ニッサン・シベリアン）を配備する。	
	4月 1日	消防職員14名を採用、66名となる。	
	8月20日	市防災課よりアルミ製折りたたみ救助艇2艇、トーハツ船外機B18A2型2基、救助網2張の管理委託を受ける。	
	昭和49年	3月 1日	消防団長平野博通氏、消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
4月 1日		上尾市大字中分78番地に西分署を開署する。水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、職員21名をもって業務を開始する。	
1日		消防職員14名、女子事務吏員2名を採用、82名となる。	
6月27日		消防本部警防課、西分署に連絡車（ニッサン・バイオレット）2台を配備する。	
10月15日		消防署に高さ30m監視用テレビ塔完成する。既設望楼を解体する。	
31日		消防無線に市町村波を追加し、チャンネル式無線機（移動局6基、携帯無線機1基）を配備し、4基をチャンネル式にする。	
11月15日		西分署水槽付消防ポンプ自動車（ニッサン）更新する。	
昭和50年	25日	西分署に救急車3B型（ニッサン・シベリアン）を配備する。	
	4月 1日	消防職員19名を採用、101名となる。	
	1日	第二分団車庫・詰所を上尾市仲町一丁目10番3号に移転する。	
	26日	消防本部に指令車（ニッサン・スカイライン）を配備する。	
	10月22日	第四分団、第六分団消防ポンプ自動車（ニッサン）更新する。	
	11月19日	西分署に消防ポンプ自動車（ニッサン）を配備する。	
	12月24日	消防署に化学消防ポンプ自動車（ニッサン）を配備する。	
	昭和51年	4月 1日	消防団長に大谷喜一氏（第4代）が就任する。
		10月15日	消防本部に予防車（ニッサン・スカイライン）を配備する。
		11月 1日	消防長天野正三氏退職、後任消防長に上尾市長友光恒（第3代）が就任する。
	15日	消防署に車庫及び物置が完成する。	

昭和52年	4月 1日	消防職員5名を採用、104名となる。
	11月 1日	西分署にA塔高さ15m、B塔高さ7m、塔間16mの訓練塔が完成する。
	12月 6日	第八分団消防ポンプ自動車（ニッサン）更新する。
	20日	消防署消防ポンプ自動車（ニッサン）更新する。
	25日	第五分団車庫・詰所を上尾市大字菅谷字西中通257番地1に新築移転する。
昭和53年	2月23日	消防署に救助工作車（ニッサン）を配備する。
	4月 1日	消防職員10名を採用、112名となる。
	8月 1日	第四分団車庫・詰所を上尾市大字原市779番地に移転する。
	10月17日	第三分団消防ポンプ自動車（ニッサン）更新する。
昭和54年	3月15日	消防署に救急車2B型（トヨタ・ハイエース）を配備する。
	22日	東分署に水槽付消防ポンプ自動車（イズズ・フォワード）を配備する。
	4月 1日	上尾市大字瓦葺1139番地に東分署を開署する。水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、職員21名をもって業務を開始する。
	1日	消防職員11名を採用、122名となる。
	5月 1日	消防職員1名を採用、123名となる。
	7月14日	東分署に連絡車（ニッサン・ブルーバードバン）を配備する。
	18日	信和デジタル機器株より救急車2B型（トヨタ・ハイエース）の寄贈を受け、東分署に配備する。
昭和55年	1月 1日	上尾市長友光恒氏消防長兼務を解き、後任消防長に野原竹次郎（第4代）が就任する。
	4月 1日	消防職員9名を採用、130名となる。
	11月29日	東分署に消防ポンプ自動車（イズズ・エルフCD—I型）を配備する。
	12月 3日	消防署に緊急物資輸送車（ニッサン・バイソン1.5t）を配備する。
昭和56年	2月14日	西分署所在地、町名地番変更に伴い、上尾市中分一丁目15番地の2となる。
	4月 1日	消防職員5名を採用、133名となる。
	6月14日	第一分団車庫・詰所を上尾市上町一丁目7番1号に新築移転する。
	8月22日	第二分団消防ポンプ自動車（ニッサン）更新する。
	11月 1日	消防長野原竹次郎氏退職、後任消防長に河村吉之助（第5代）が就任する。
	25日	西分署に救急車2B型（トヨタ・ハイエース）を配備する。
昭和57年	5月19日	第四分団車庫を改築する。
	7月 1日	消防職員定数条例改正、165名となる。
	1日	警防車（トヨタ・カラーラバン）更新する。
昭和58年	4月 1日	消防職員17名（女性消防士2名）を採用、150名となる。
	22日	全国消防長会関東支部主催第6回意見発表会に埼玉県消防長会代表として、消防士小島浩志を派遣する。

昭和58年	8月19日	全国消防協会主催第12回全国消防救助技術大会（ほふく救出）に関東地区代表として、川鍋、土屋、設永各消防士が出場する。
	10月14日	指令車（ニッサン・グロリア）更新する。
	11月1日	上尾市消防本部組織規則及び消防署組織規程を改正する。
	1日	消防本部・消防署庁舎を上尾市大字上尾村537番地に新築移転する。鉄筋コンクリート造2階建、敷地面積7768.8㎡、延面積2689.06㎡、付属施設訓練塔A塔10階建29.5m、B塔3階建10.2mをもって業務を開始する。
	1日	消防職員1名を採用、151名となる。
	1日	消防無線に救急波を追加し、救急無線を独立させる。
	1日	第五分団消防ポンプ自動車（イスズ・エルフCD—I型）更新する。
	12月10日	消防署はしご付消防自動車（ニッサンディーゼル・46m級）更新する。
昭和59年	3月25日	消防本部・消防署庁舎敷地内に耐震性防火水槽（100㎡）を設置する。
	4月1日	消防職員11名を採用、158名となる。
	5月14日	市児童障害課より業務委託を受け聴覚障害者用緊急通報ファクシミリを設置する。
	23日	上尾ライオンズクラブより業務用バイク（ホンダ・ジョイ）の寄贈を受ける。
	7月4日	西分署連絡車（トヨタ・ランドクルーザー）更新する。
	9月25日	第七分団車庫・詰所を上尾市大字平方1006番地1に新築移転する。
昭和60年	2月8日	日本消防協会より表彰旗（消防団）を授与される。
	3月6日	消防庁長官より竿頭綬（消防本部・署・消防団）を授与される。
	6日	消防団長大谷喜一氏消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
	4月1日	消防職員5名を採用、163名となる。
	8月6日	第1回夏休み一日消防士を実施し、小学4～6年生70名参加する。
	9月30日	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車（三菱）の寄贈を受け、西分署に配備する。
	10月12日	予防車（ニッサン・ホーミーロングバン）更新する。
	12日	上尾中央ライオンズクラブより予防査察指導車（ダイハツ・ハイゼット）の寄贈を受ける。
	11月22日	上尾ライオンズクラブ及び上尾中央ライオンズクラブより、火災予防横断幕2枚の寄贈を受ける。
昭和61年	2月1日	西分署改装工事（外装）を行う。
	3月25日	第七分団消防ポンプ自動車（イスズ・エルフCD—I型）更新する。
	9月1日	上尾西ロータリークラブより業務用バイク（ホンダAF13）の寄贈を受ける。
昭和62年	4月1日	消防職員定数条例改正、200名となる
	1日	消防職員7名を採用、168名となる。

- 昭和62年 4月23日 全国消防長会関東支部主催第10回意見発表会に埼玉県消防長会代表として、消防士中山一之を派遣する。
- 10月 1日 消防職員1名を採用、168名となる。
- 2日 第一分団消防ポンプ自動車（イスズ・エルフCD—I型）更新する。
- 23日 第1回市内事業所屋内消火栓操法大会を実施し、26事業所、41隊が出場する。
- 23日 上尾商工会議所より屋内消火栓操法大会用優勝杯の寄贈を受ける。
- 28日 消防署救急車2B型（ニッサン・キャラバン）更新する。
- 11月 8日 上尾西ロータリークラブより消防団操法大会用優勝旗の寄贈を受ける。
- 昭和63年 2月 2日 第八分団車庫・詰所を上尾市大字向山50番地4に新築移転する。
- 3月17日 南分署に水槽付消防ポンプ自動車（ニッサン・コンドル）を配備する。
- 25日 上尾市大字大谷本郷908番地8に南分署完成、同敷地内に耐震性防火水槽（20m³）を設置する。
- 26日 上尾ライオンズクラブより火災予防横断幕の寄贈を受ける。
- 4月 1日 消防職員11名を採用、177名となる。
- 15日 南分署を開署する。はしご付消防自動車1台を配備し、水槽付消防ポンプ自動車1台、職員15名をもって業務を開始する。
- 6月16日 上尾武蔵ライオンズクラブより広報車（トヨタ・カローラバン）の寄贈を受ける。
- 7月26日 日本消防協会より救急車2B型（ニッサン・キャラバン）の寄贈を受け、南分署に配備する。
- 8月24日 南分署に連絡車（ダイハツ・ハイゼット）を配備する。
- 10月23日 上尾中央ライオンズクラブより屋内消火栓操法大会用優勝旗の寄贈を受ける。
- 11月27日 緊急物資輸送車（ニッサン・コンドル）更新する。
- 平成 元年 3月29日 東分署用救急車2B型（ニッサン・キャラバン）更新する。
- 4月 1日 消防長河村吉之助氏退職、後任消防長に豊村賢一（第6代）が就任する。
- 1日 消防職員11名を採用、188名となる。
- 1日 南分署救急業務開始する。
- 1日 消防団長に山田滋男氏（第5代）が就任する。
- 29日 前消防団長大谷喜一氏、藍綬褒章を授与される。
- 6月 9日 上尾北ロータリークラブより可搬式ウインチ1台の寄贈を受ける。
- 7月11日 東分署連絡車（ニッサン・ブルーバードバン）更新する。
- 9月 6日 救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令（昭和61年省令第22号）に基づき、救助資器材を配備する。
- 7日 （株）旭計器より連絡車（ホンダ・アスコット）の寄贈を受ける。
- 11月 1日 市老人福祉課より業務委託を受け、緊急通報システム（ペンダント方式）を設置する。
- 7日 西分署改修工事（内装）を行う。

平成 元年 1 月 20 日 上尾西ロータリークラブより可搬式ウインチ 1 台の寄贈を受ける。

2 月 26 日 南分署に消防ポンプ自動車（イスズ・エルフ CD—I 型）を配備する。

平成 2 年 3 月 8 日 消防団長山田滋男氏、消防副団長三澤春樹氏、消防副団長深山英孝氏
消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。

4 月 1 日 上尾市消防職員の階級及び名称に関する規則の一部改正を行い、消防長の階級を消防正監とする。

1 日 消防職員 7 名を採用、195 名となる。

2 月 20 日 上尾北ロータリークラブより火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。

8 月 24 日 全国消防協会主催第 19 回全国消防救助技術大会（溺者搬送）に関東地区代表として、田島（孝）、菊池（寛）消防士が出場する。

10 月 11 日 第六分団消防ポンプ自動車（イスズ・エルフ CD—I 型）更新する。

1 月 17 日 上尾・伊奈危険物防火安全協会より屋内消火栓操法大会用準優勝杯の寄贈を受ける。

2 月 24 日 上尾西ロータリークラブより火災予防横断幕の寄贈を受ける。

2 月 29 日 西分署消防ポンプ自動車（イスズ・エルフ CD—I 型）更新する。

12 月 20 日 消防署化学消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼル化 II 型）更新する。

平成 3 年 1 月 1 日 埼玉県に防災航空隊が発足し、消防士長羽成洋一を派遣する。

3 月 18 日 日本損害保険協会より救急車 2B 型（ニッサン・キャラバン）の寄贈を受け、西分署に配備する。

2 月 20 日 消防署に資機材用倉庫（鉄骨造 2 階建、延面積 137.60 m²）が完成する。

4 月 1 日 消防職員 5 名を採用、197 名となる。

1 日 消防団長に三澤春樹氏（第 6 代）が就任する。

8 月 28 日 全国消防協会主催第 20 回全国消防救助技術大会（障害突破）に関東地区代表として、矢部（千）副士長、浜田、中山、古川、長島（孝）消防士が出場する。

9 月 30 日 警防車（イスズ・ファーク）更新する。

3 月 30 日 第四分団消防ポンプ自動車（イスズ・エルフ CD—I 型）更新する。

10 月 17 日 指令車（ニッサン・セドリック）更新する。

2 月 28 日 南分署はしご付消防自動車（ニッサンディーゼル・30m 級）更新する。

平成 4 年 2 月 28 日 第六分団車庫・詰所を上尾市大字小泉 7 4 5 番地 1 に新築移転する。

3 月 4 日 参事兼次長粕谷正之助、消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。

2 月 25 日 東分署改修工事（内装・外装）を行う。

4 月 1 日 消防長豊村賢一氏福祉部長に転出し、後任消防長に粕谷正之助（第 7 代）が就任する。

1 日 消防職員 3 名を採用、198 名となる。

5 月 18 日 上尾・伊奈危険物防火安全協会より火災予防横断幕の寄贈を受ける。

6 月 12 日 上尾北ロータリークラブより、火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。

8 月 28 日 全国消防協会主催第 21 回全国消防救助技術大会（溺者搬送）に関東地区代表として、田島（孝）士長、大野消防士が出場する。

- 平成 4年 9月24日 第八分団消防ポンプ自動車（イスズ・エルフCD—I型）更新する。
- 11月 3日 元消防団長平野博通氏、勲五等双光旭日章を授与される。
- 19日 消防署消防ポンプ自動車（イスズ・エルフCD—I型）更新する。
- 25日 上尾西ロータリークラブより火災予防懸垂幕、横断幕の寄贈を受ける。
- 12月15日 上尾ライオンズクラブより火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。
- 平成 5年 1月29日 救助工作車（ニッサンディーゼル）更新する。
- 3月 5日 上尾ライオンズクラブより予防車（ニッサン・ホーミーロングバン）の寄贈を受ける。
- 4月 1日 消防職員定数条例改正、230名となる。
- 1日 消防職員6名を採用、204名となる。
- 1日 埼玉県防災航空隊に消防士長野本幸一を派遣する。
- 8月20日 全国消防協会主催第22回全国消防救助技術大会（障害突破、はしご登はん）に関東地区代表として、羽成、矢部（千）士長、中山、清水（孝）、鈴木（康）、古川、伊藤、長島（孝）、白石、小澤（康）、岡崎消防士が出場する。
- 9月20日 第三分団消防ポンプ自動車（イスズ・エルフCD—I型）更新する。
- 11月 9日 上尾ライオンズクラブより火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。
- 12月28日 上尾西ロータリークラブより火災予防懸垂幕、横断幕の寄贈を受ける。
- 平成 6年 2月 1日 東分署水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼル）更新する。
- 21日 北分署に水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼル）を配備する。
- 25日 北分署に連絡車（ニッサン・アベニール）を配備する。
- 25日 上尾市大字上1573番地の1に北分署完成、同敷地内に耐震性防火水槽（40㎡）を設置する。
- 3月28日 第四分団車庫・詰所を上尾市大字原市779番地1に新築する。
- 4月 1日 消防職員14名を採用、218名となる。
- 1日 北分署を開署する。水槽付消防ポンプ自動車1台、連絡車1台、職員15名をもって業務を開始する。
- 7月28日 西分署連絡車（トヨタ・カローラバン）更新する。
- 8月25日 全国消防協会主催第23回全国消防救助技術大会（障害突破）に関東地区代表として中山士長、清水（孝）、古川、長島（孝）、伊藤消防士が出場する。
- 9月28日 上尾中央ライオンズクラブより査察指導車（トヨタ・カルディナバン）の寄贈を受ける。
- 10月28日 上尾ライオンズクラブより火災予防横断幕の寄贈を受ける。
- 平成 7年 1月18日 第二分団車庫・詰所の増築を行う。
- 2月27日 消防署救急車を高規格救急車（ニッサン・パラメディック）に更新する。
- 3月 1日 上尾市助役小池甫氏、消防長事務取扱となる。
- 8日 上尾西ロータリークラブより火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。
- 27日 通信指令室及び図書室の改修工事を行う。

平成 7年	4月 1日	消防職員9名を採用、226名となる。
	1日	消防長粕谷正之助氏退職、後任消防長に倉谷孝一郎（第8代）が就任する。
	1日	北分署救急業務を開始する。
	5月30日	高規格救急車の愛称を一般募集し、A—HEART（エー・ハート）に決まる。
	9月 5日	緊急消防援助隊（県外応援可能部隊）に消火隊1隊、救急隊1隊を登録する。
	10月 1日	消防本部発足30周年記念式典並びに消防フェアを上尾市民体育館にて開催する。
	11月 2日	第二分団消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼルCD—I型）更新する。
	10日	東分署消防ポンプ自動車（MX—I、CD—I型）更新する。
	29日	西分署救急車を高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）に更新する。
	12月13日	北分署に消防ポンプ自動車（MX—I、CD—I型）を配備する。
	18日	消防署水槽付消防ポンプ自動車（ニッサン・コンドル）更新する。
平成 8年	3月14日	南分署連絡車（ニッサン・アベニール）更新する。
	18日	上尾西ロータリークラブより防火掲示板の寄贈を受ける。
	25日	通信指令装置（消防緊急通信指令施設）更新する。
	4月 1日	消防職員6名を採用、230名となる。
	1日	埼玉県消防学校に消防司令補嶋村睦夫を派遣する。
	5月 8日	彩の国レスキュー隊に救助隊を登録する。
	29日	消防署広報車（ニッサン・ADバン）更新する。
	10月 9日	上尾ライオンズクラブより防火掲示板の寄贈を受ける。
	11月15日	南分署消防ポンプ自動車（ニッサン・コンドルCD—I型）更新する。
	12月16日	南分署救急車を高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）に更新する。
平成 9年	2月14日	日本消防協会より竿頭綬（消防団）を授与される。
	3月 5日	副参事兼総務課長大川原富夫、消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
	8月22日	全国消防協会主催第26回全国消防救助技術大会（複合検索）に関東地区代表として、富永消防士が出場する。
	9月21日	消防フェアを上尾市民体育館にて開催する。
	10月22日	消防署積載車（ニッサンディーゼル）更新する。
	11月20日	上尾北ロータリークラブより火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。
平成10年	3月 7日	南分署長大川一夫、消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
	7日	消防団長三澤春樹氏、消防庁長官より功労章を授与される。
	4月 1日	消防長倉谷孝一郎氏退職、後任消防長に日吉孝（第9代）が就任する。
	1日	消防職員3名を採用、229名となる。
	1日	埼玉県消防学校に消防士長田島孝一を派遣する。

- 平成10年 4月 1日 埼玉県内における携帯電話による119番等通報受信・転送業務を開始する。
- 8月 21日 消防本部連絡車（トヨタ・プリウス）更新する。
- 28日 全国消防協会主催第27回全国消防救助技術大会（ロープ応用登はん、はしご登はん）に関東地区代表として、関矢（富）士長、加藤（光）消防士、岡崎士長が出場する。
- 10月 1日 第五分団消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼルCD—I型）更新する。
- 平成11年 3月 4日 東分署救急車を高規格救急車（ニッサン・エルグランド）に更新する。
- 5日 参事兼消防署長小川和雄、副参事兼予防課長渡辺義雄、副参事兼副署長鴨田和征、消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
- 10日 災害派遣隊用装備品（エアータント、移動型倉庫他）を配備する。
- 19日 三井金属鉱業株式会社より水難救助用沈錘の寄贈を受ける。
- 4月 1日 自治省消防庁（予防課設備係）に消防士長矢部広巳を派遣する。
- 1日 埼玉県防災航空隊に消防士長設永豊を派遣する。
- 10日 上尾北ロータリークラブより火災予防横断幕の寄贈を受ける。
- 7月 6日 上尾西ロータリークラブより火災予防横断幕の寄贈を受ける。
- 8月 19日 全国消防協会主催第28回全国消防救助技術大会（ロープ応用登はん、はしご登はん、引揚救助）に関東地区代表として、関矢（富）士長、加藤（光）消防士、岡崎士長、永塚、三ノ丸、下栃棚、神田、柳川消防士が出場する。
- 9月 1日 七都県市合同防災訓練埼玉会場が、平方スポーツ広場をメインとし上平公園・平方上宿会場にて分散型訓練を実施する。
- 10月 3日 消防フェアを上尾市民体育館にて開催する。
- 11月 20日 上尾中央ライオンズクラブより火災予防横断幕の寄贈を受ける。
- 平成12年 1月 26日 上尾中央ライオンズクラブより火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。
- 2月 14日 西分署水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼル）更新する。
- 3月 8日 警防課長高橋幸男、南分署長小川修司、消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
- 4月 1日 自治省消防庁（消防課消防団係）に消防士長保坂久を派遣する。
- 1日 埼玉県消防学校に消防士長濱田実を派遣する。
- 8月 18日 全国消防協会主催第29回全国消防救助技術大会（引揚救助、障害突破）に関東地区代表として、永塚、三ノ丸副士長、下栃棚、神田、柳川消防士、白石副士長、小澤（康）、金子、石附、永田消防士が出場する。
- 9月 26日 第七分団消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼルCD—I型）更新する。
- 11月 20日 消防署はしご付消防自動車（ニッサンディーゼル・38m級）更新する。
- 24日 北分署救急車を高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）に更新する。
- 平成13年 3月 8日 消防長日吉孝、副参事兼総務課長大木三郎、東分署長清水稔夫、消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
- 4月 1日 消防長日吉孝氏退職、後任消防長に小川和雄（第10代）が就任する。

- 平成13年 4月 1日 消防職員5名を採用、227名となる。
- 1日 総務省消防庁（予防課予防調査係）に消防士長長島淳を派遣する。
- 29日 消防団長三澤春樹氏藍綬褒章を授与される。
- 6月 1日 上尾市消防音楽隊（隊員32名）が発足する。
- 9月26日 警防車（ニッサン・キャラバン）更新する。
- 30日 消防フェアを上尾市民体育館にて開催する。
- 12月 7日 日栄プラスチック株式会社よりヘルメット（大人用・子供用）の寄贈を受ける。
- 平成14年 3月 6日 南分署長島田光一、東分署長菅野和男、消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
- 15日 第一分団消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼルCD—I型）更新する。
- 4月 1日 消防長小川和雄氏退職、後任消防長に大川原富夫（第11代）が就任する。
- 1日 現場活動の強化を図るため、係制からグループ制に組織を改正する。
- 1日 消防職員5名を採用、230名となる。
- 1日 総務省消防庁（救急救助課救助係）に消防司令補柳川幸助を派遣する。
- 1日 埼玉県消防防災課に消防司令吉田春男を派遣する。
- 1日 埼玉県消防学校に消防士長中山一之を派遣する。
- 5月31日 蓮田市在住内田好明氏より腕用ポンプの寄贈を受ける。
- 8月21日 第22回埼玉県消防操法大会が埼玉県消防学校にて開催され、上尾市消防団が出場する。
- 9月 6日 上尾西ロータリークラブより蘇生訓練用マネキン（乳児・大人）の寄贈を受ける。
- 平成15年 2月11日 上尾ライオンズクラブより火災予防横断幕・懸垂幕、出初式用防風幕の寄贈を受ける。
- 28日 南分署水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼルI—A型、災害対応特殊水槽付）更新する。
- 3月 5日 消防署参事兼消防署長日吉栄一、予防課長松本輝夫、消防署消防第一課長友光幸雄、西分署長野口圀明、消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
- 4月 1日 消防職員定数条例改正、255名となる。
- 1日 消防職員5名を採用、232名となる。
- 1日 総務省消防庁（予防課危険物保安室）に消防士長赤沼伸晃を派遣する。
- 9月19日 予防車（ニッサン・キャラバン）更新する。
- 28日 消防フェアを上尾市民体育館にて開催する。
- 10月19日 第1回上尾市消防団・伊奈消防団合同消防操法大会を開催する。
- 平成16年 3月 4日 消防長大川原富夫、消防庁長官より功労章を、消防署消防第二課長石井勇二、消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。

- 平成16年 4月 1日 消防長大川原富夫氏退職、後任消防長に大木三郎（第12代）が就任する。
- 1日 消防団長に鈴木博氏（第7代）が就任する。
- 1日 消防職員10名を採用、237名となる。
- 1日 総務省消防庁（総務課国民保護室）に消防士長穂谷功を派遣する。
- 1日 埼玉県消防学校に消防士長鈴木康夫を派遣する。
- 1日 埼玉県防災航空隊に消防士長関矢富明を派遣する。
- 7月13日 新潟・福島豪雨発生、緊急援助隊として消火小隊1隊、救急小隊1隊、積載車（ボート搬送）を新潟県見附市、三条市に派遣する。
（14～15日7名）
- 10月23日から27日まで第59回秋季国民体育大会（自転車ロード・柔道）の消防警戒を実施する。
- 23日 新潟県中越地震発生、緊急援助隊として救急小隊1隊を新潟県小千谷市に派遣する（24～25日4名）。
- 平成17年 1月26日 消防署高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
- 3月 4日 南分署長萩原忠夫、消防団長鈴木博氏、消防庁長官より永年勤続功労章を、上尾市消防本部及び上尾市消防団に連名にて消防庁長官より表彰旗を授与される。
- 10日 平方分署に水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼルI-A型）を配備する。
- 18日 平方1713番地1に平方分署（複合施設）が完成。同敷地内に耐震性防火水槽（100m³）を設置する。
- 18日 平方分署に連絡車（トヨタ・ハイラックスサーフ）を配備する。
- 30日 消防署に指揮車（ニッサン・キャラバン）を配備する。
- 4月 1日 消防長大木三郎氏退職、後任消防長に濱野秀彦（第13代）が就任する。
- 1日 消防職員12名を採用、246名となる。
- 1日 総務省消防庁（予防課危険物保安室）に消防士長島垣弘和を派遣する。
- 1日 平方分署を開署する。水槽付消防ポンプ自動車1台、連絡車1台、職員15名をもって業務を開始する。
- 5月12日 救助艇（ゴムボート5人乗り）及びヤマハ発動機682K型船外機を平方分署に配備する。
- 9月 1日 消防署分署名称を変更する。西分署を大石分署、東分署を原市分署、南分署を大谷分署、北分署を上平分署とする。
- 平成18年 2月13日 第六分団消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼルCD-I型）更新する。
- 3月 3日 参事兼次長小峯義雄、消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
- 13日 大石分署消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼルCD-I型）更新する。
- 14日 消防署非常用消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼルCD-I型）更新する。

平成18年	4月	1日	消防長濱野秀彦氏退職、後任消防長に小峯義雄(第14代)が就任する。
		1日	消防職員10名を採用、252名となる。
		1日	総務省消防庁(予防課予防係)に消防士長石附高行を派遣する。
		1日	埼玉県消防学校に消防士長伊藤啓成を派遣する。
		1日	緊急消防援助隊(県外応援可能小隊)の登録隊数を消火小隊1隊、救急小隊1隊の計2隊から消火小隊2隊、救急小隊1隊の計3隊へ増隊登録の変更をする。
		1日	携帯電話による119番通報の直接受信を開始する。
		1日	平方分署、救急業務を開始する。
	7月	3日	査察指導車(トヨタ・サクシードワゴン)更新(リース)する。
		18日	前指令車を総務車(ニッサン・ティアナ)として更新(リース)する。
	9月	1日	消防署物資輸送車(トヨタ・トヨエース)、指令車、大石分署、大谷分署、上平分署の各連絡車(トヨタ・サクシードワゴン)更新(リース)する。
平成19年	1月	19日	第四分団消防ポンプ自動車(ニッサンディーゼルCD-I型)更新する。
	2月	15日	大石分署高規格救急車(トヨタ・ハイメディック)更新する。
	4月	1日	消防職員定数条例改正、275名となる。
		1日	消防職員8名を採用、258名となる。
		1日	総務省消防庁(防災課防災情報室)に消防士長加藤光を派遣する。
	6月	1日	消防本部連絡車(トヨタ・エスティマハイブリッド)更新(リース)する。
	11月	1日	消防署訓練棟(A塔・B塔)の改修工事を行う。
		26日	西消防署に救助工作車(ニッサンディーゼル)を配備する。
		28日	中分1-232番地に西消防署(複合施設)が完成。鉄骨造3階建、敷地面積5019㎡、延面積3608㎡、(西消防署2284㎡)付属施設訓練塔鉄骨造5階建175㎡、同敷地内に耐震性防火水槽(100㎡)を設置する。
	平成20年	1月	1日
1日			消防署名を旧消防署から東消防署に改め、2署4分署体制となる。
2月		7日	大谷分署高規格救急車(トヨタ・ハイメディック)更新する。
		15日	第八分団消防ポンプ自動車(ニッサンディーゼルCD-I型)更新する。
		28日	東消防署消防ポンプ自動車(ニッサンディーゼルCD-I型)更新する。
4月		1日	消防長小峯義雄氏退職、後任消防長に関根千春(第15代)が就任する。
		1日	消防職員10名を採用、260名となる。
		1日	総務省消防庁(予防課危険物保安室)に消防士長吉田慎を派遣する。
		1日	埼玉県消防学校に消防士長長島孝一を派遣する。

平成20年	8月23日	第25回埼玉県消防操法大会が埼玉県消防学校にて行われ、上尾市消防団が出場、準優勝を収める。
	12月9日	第三分団車庫・詰所を上尾市柏座二丁目13番12号に新築移転する。
平成21年	1月8日	原市分署高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
	9日	東消防署救助工作車（ニッサンディーゼル）更新する。
	2月6日	第三分団消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼルCD-I型）更新する。
	3月2日	原市分署連絡車（トヨタ・サクシードワゴン）更新（リース）する。
	6日	参事兼東消防署長岡安正明、副参事兼原市分署長浅子武男、消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
	4月1日	消防長関根千春氏退職、後任消防長に栗原実（第16代）が就任する。
	1日	消防職員6名（女性消防士1名）を採用、259名となる。
	1日	総務省消防庁（予防課制度係）に消防士長中川憲を派遣する。
	1日	西消防署複合施設内防災体験コーナー（地震・消火体験、映像コーナー）が消防本部管理となる。
	11月2日	東消防署非常用高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
	13日	第15回埼玉県下消防音楽隊合同演奏会（事務局・羽生市消防本部）が市文化センターにて13消防本部参加のもと開催される。
	12月14日	原市分署水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼルI-A型）更新する。
平成22年	1月15日	上平分署水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼルI-B型・災害対応特殊水槽付）更新する。
	3月5日	消防団長鈴木博氏、消防庁長官より功労章を、消防長栗原実、次長柳本俊夫、消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
	4月1日	消防職員7名を採用、260名となる。
	1日	総務省消防庁（予防課行政係）に消防士長松崎博を派遣する。
	1日	埼玉県消防学校に消防士長柳川光充を派遣する。
	22日	上平分署高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
	5月10日	元消防団長山田滋男氏瑞宝単光章を授与される。
	24日	第二分団消防ポンプ自動車（日野CD-I型）更新する。
	7月26日	東消防署化学消防ポンプ自動車（日野II型）更新する。
	9月1日	原市分署消防ポンプ自動車・上平分署消防ポンプ自動車（日野CD-I型）更新する。
	24日	東消防署水槽付消防ポンプ自動車（UDトラックスI-B型・災害対応特殊水槽付）更新する。
平成23年	3月3日	西消防署長木村安男、消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
	10日	大谷分署はしご付き消防自動車を屈折はしご付消防自動車（日野25m）に更新し、西消防署に配備する。

平成23年	3月11日	東北地方太平洋沖地震発生、緊急消防援助隊として消火小隊1隊を岩手県陸前高田市に派遣する（3月31日派遣終了まで延べ25名）。3月26日より救急小隊1隊を福島県福島市・本宮市に派遣する（4月10日まで延べ12名、4月22日より5月4日まで延べ9名）。
	4月1日	消防職員定数条例改正、267名となる。
	1日	消防長栗原実氏退職、後任消防長に成井正美（第17代）が就任する。
	1日	消防職員4名（女性消防士1名）を採用、258名となる。
	1日	埼玉県消防学校（救急救命士養成所）に消防司令補長嶋健一を派遣する。
	29日	消防団長鈴木博氏、藍綬褒章を受章する。
	11月3日	前消防団長三澤春樹氏、瑞宝双光章を受章する。
平成24年	3月8日	消防長成井正美、次長戸井田行雄、西消防署長河原塚律緒、消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
	4月1日	消防職員9名を採用、260名となる。
	1日	総務省消防庁（総務課消防技術政策室）に消防士長神園紳吾を派遣する。
	1日	埼玉県消防学校に消防司令補板倉義秀を派遣する。
	1日	緊急消防援助隊（県外応援可能小隊）の登録数を消火小隊2隊、救急小隊1隊計3隊から消火小隊3隊、救助小隊1隊、救急小隊1隊の計5隊へ増隊登録の変更をする。
	6月11日	西消防署大谷分署消防ポンプ自動車（日野CD-I型）更新する。
平成25年	3月1日	消防緊急通信指令システムを更新し、伊奈町と試験運用を開始する。
	6日	参事兼東消防署長笹本和男、次長山寄秀樹、消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
	18日	総務省消防庁より、消防組織法第50条の国有財産等の無償使用許可による3t級重機（コマツ）及び重機搬送車（日野）を貸与される。（緊急消防援助隊・震災対応特殊車両）
	22日	第五分団車庫・詰所を菅谷257番地1に新築する。
	4月1日	消防長成井正美氏退職、後任消防長に中村進（第18代）が就任する。
	1日	消防職員3名を採用、260名となる。
	1日	総務省消防庁（総務課消防技術政策室）に消防士長福田宗貴を派遣する。
	1日	埼玉県防災航空隊に消防司令補鈴木伸也を派遣する。
	1日	上尾市・伊奈町消防通信指令事務協議会が発足する。 上尾市・伊奈町消防指令センターの共同運用を開始する。
	1日	緊急消防援助隊（県外応援可能小隊）の登録数を消火小隊3隊、救助小隊1隊、救急小隊1隊計5隊から消火小隊3隊、救助小隊1隊、救急小隊1隊、特殊装備小隊1隊の計6隊へ増隊登録の変更をする。
	9月1日	メール119、FAX119の業務を開始する。
	12月16日	第五分団消防ポンプ自動車（日野CD-I型）更新する。
平成26年	3月5日	消防長中村進、西消防署長矢野浩之、次長山下雅弘、消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。

- 平成26年 4月 1日 消防長中村進氏退職、後任消防長に加藤一美（第19代）が就任する。
- 1日 消防職員12名（うち女性消防士1名）を採用、260名となる。
- 1日 総務省消防庁（防災課防災情報室）に消防士長関根晋平を派遣する。
- 1日 組織再編により組織、事務分掌を一部変更する。
- 7月 1日 警防車（トヨタ・ハイエース）更新（リース）する。
- 8月 1日 消防本部連絡車（トヨタ・ノアハイブリッド）更新（リース）する。
- 平成27年 1月 8日 平方分署高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
- 3月 6日 消防長加藤一美、次長井原学、消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
- 6日 消防救急デジタル無線試験運用を開始する。
- 6日 西消防署水槽付消防ポンプ自動車（日野I-A型）更新する。
- 4月 1日 消防職員7名を採用、260名となる。
- 1日 埼玉県消防学校に消防司令補金子大を派遣する。
- 5月14日 元消防長大川原富夫氏、瑞宝小綬章を受章する。
- 7月15日 上尾・伊奈防火安全協会より火災予防横断幕の寄贈を受ける。
- 8月29日 全国消防協会主催第44回全国消防救助技術大会（溺者搬送）に関東地区代表として、及川士長、辻消防士が出場する。
- 11月 1日 消防本部発足50周年記念イベントをアリオ上尾にて開催する。
- 11日 元消防長小川和雄氏、瑞宝小綬章を受章する。
- 29日から12月12日まで日本外交協会よりリサイクル援助事業短期技術研修への指導員派遣依頼により、寄贈車両技術指導のためコンゴ民主共和国ルブンバシ市に消防司令補小川宏和を派遣する。
- 12月28日 平方消防友の会より火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。
- 平成28年 1月26日 西消防署及び非常用高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
- 2月25日 消防本部・東消防署改修工事（外壁）を行う。
- 3月 9日 参事兼東消防署長吉田春男、参事兼次長高野英司、副参事兼指令課長嶋村睦夫、西消防署長羽成洋一、及び副団長矢島健次氏、団員青木誠氏、団員鈴木清氏消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
- 16日 消防本部発足50周年記念事業の一環として壁画パネルを設置する。
- 4月 1日 消防長加藤一美氏退職、後任消防長に田島孝一（第20代）が就任する。
- 1日 消防団長に矢島健次氏（第8代）が就任する。
- 1日 消防職員11名（うち女性消防士1名）を採用、260名となる。
- 1日 総務省消防庁（防災課防災情報室）に消防士長齋藤穰を派遣する。
- 1日 緊急消防援助隊（県外応援可能小隊）の登録数を消火小隊3隊、救助小隊1隊、救急小隊1隊、特殊装備小隊1隊計6隊から消火小隊3隊、救助小隊1隊、救急小隊1隊、特殊装備小隊1隊、後方支援小隊1隊の計7隊へ増隊登録の変更をする。
- 5月16日 元消防長大木三郎氏、瑞宝小綬章を受章する。
- 12月20日 大谷分署高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。

平成28年	1月21日	西消防署に資機材搬送車（日野デュトロ）を配備する。
平成29年	2月27日	消防本部・東消防署屋上防水工事を行う。
	3月9日	次長細田平、上平分署長小鷲一三、東消防署消防第二課長戸井田千秋、及び団員浅野和男氏消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
	4月1日	消防職員13名（うち女性消防士1名）を採用、260名となる。
	1日	埼玉県消防学校に消防司令補照内大吾を派遣する。
	5月16日	消防団長矢島健次氏、団員松本光氏、藍綬褒章を受章する。
	8月23日	全国消防協会主催第46回全国救助技術指導会（ロープ応用登はん、基本泳法、溺者搬送）に関東地区代表として、富永消防司令補、石田、泉、及川消防士長が出場する。
	11月15日	消防団副団長鈴木清氏、藍綬褒章を受章する。
平成30年	2月2日	原市分署高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
	3月7日	消防団員吉田浩之氏消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
	27日	大谷分署水槽付消防ポンプ自動車（日野・レンジャー）更新する。
	27日	東消防署女子仮眠室改修工事を行う。
	4月1日	消防職員7名（うち女性消防士1名）を採用、260名となる。
	1日	埼玉県防災航空隊に消防士長角田泰伸を派遣する。
	1日	総務省消防庁（防災課防災情報室）に消防士長池田敦史を派遣する。
	1日	緊急消防援助隊（県外応援可能小隊）の登録数を消火小隊3隊、救助小隊1隊、救急小隊1隊、特殊装備小隊1隊、後方支援小隊1隊の計7隊から消火小隊4隊、救助小隊1隊、救急小隊1隊、特殊装備小隊1隊、後方支援小隊1隊の計8隊へ増隊登録の変更をする。
	8月1日	上尾市平方消防友の会より消防バックパネルの寄贈を受ける。
	9月9日	市制施行60周年記念消防フェアを上尾市消防本部にて開催する。
10月	5日	埼玉中央生コン協同組合、串橋建材株式会社と大規模災害発生時の消火用水搬送協力に関する協定を締結する。
	5日	埼玉県解体業協会と災害時における消防活動の協力に関する協定を締結する。
	11月12日	元消防長小峯義雄氏、瑞宝小綬章を受章する。
平成31年	2月6日	第七分団消防ポンプ自動車（日野CD-I型）更新する。
	2月21日	東消防署高規格救急車（ニッサン・パラメディック）更新する。
	3月6日	次長兼指令課長谷山勝造消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
	3月26日	東消防署指揮車（トヨタ・ハイエース）更新する。
	4月1日	消防職員6名を採用、260名となる。
	1日	埼玉県消防学校に消防司令補大澤友秀を派遣する。
令和元年	7月11日	株式会社セブン-イレブン・ジャパンとコンビニエンスストアへの自動体外式除細動器設置に係る基本協定を締結し、市内31カ所に設置される。

- 令和 元年 8月25日 全国消防協会主催第48回全国救助技術指導会（ロープ応用登はん、溺者搬送）に関東地区代表として、石田、泉、及川消防士長、田中消防士が出場する。
- 12月17日 消防団員吉田浩之氏、藍綬褒章を受章する。
- 2年 1月 9日 上平分署高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
- 3月 4日 東消防署長横山重一消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
- 15日 第二分団車庫・詰所を上尾市愛宕三丁目23番34号に新築移転する。
- 4月 1日 消防職員11名（うち女性消防士2名）を採用、267名となる。
大谷分署に新規高規格救急車を配備し2台体制となる。
総務省消防庁（防災課防災情報室）に消防士松本大幹を派遣する。
緊急消防援助隊（県外応援可能小隊）の登録数を消火小隊4隊、救助小隊1隊、救急小隊1隊、特殊装備小隊1隊、後方支援小隊1隊の計8隊から消火小隊4隊、救助小隊1隊、救急小隊2隊、特殊装備小隊1隊、後方支援小隊1隊の計9隊へ増隊登録の変更をする。